

07月度 ^(例会) 個人 山行報告書		報告者	津田	参加 メンバー	CL: 吉田 SL: 天野 岸上、亀山、金子、 神戸、森、津田
		報告日	08/22		
山域	北アルプス	山行日	11年07月07日(木)		
山名	笠ヶ岳		～ 08日(金)		
山行目的	夏山合宿前トレーニング、チャリティ		コースタイム(天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



7/7(木) 雨
 05:20 深山荘駐車場発
 06:20 笠新道登山口 1本(10分)
 07:30 1700m付近 1本(5分)
 08:35 2100m付近 1本(10分)
 10:15 2300m付近 1本(10分)
 11:25 杓子平 1本(10分)
 (12:00 尾根)
 13:00 テン場
 13:10 笠ヶ岳山荘
 7/8(金) 曇り後晴
 04:45 テン場発
 05:15 笠ヶ岳山頂 2898m(5分)
 05:40 テン場(10分)
 06:50 尾根上平坦部 1本(10分)
 07:55 杓子平 1本(10分)
 09:15 1700m付近 1本(10分)
 10:15 1500m付近 1本(10分)
 10:45 登山口 1本(10分)
 11:50 駐車場着

〈山行報告〉刈谷に7時に集合、2台に分乗し深山荘へ向かう。予報では、明日は雨。曇りでと思いつつ車窓から空を見る。11時過ぎに駐車場に到着、テントの中で恒例の乾杯、そして就寝。翌朝、4時起床。テントを畳み、共同装備・食料を8人で分配。ザックの荷を詰め直しているとパラパラと雨。カップを着込み5時20分に出発。小雨程度だ。このままでと祈りつつ林道を進むが、途中から本降り傾向に。登山口で1本。トップの天野君がハイペースで飛ばす。蒸し暑い中、黙々と急登の我慢比べ。ぜ～ぜ～と喘ぎ出した頃、やっと1本。本降りから小雨、曇り空へ変わった為、我慢できずカップを脱ぐ。つづら折りの道をひたすら黙々とトップに続く。2100m付近を過ぎると雪渓が現れ出す。2300m付近の急な雪渓の前で1本。ストックをピッケルに変更。雨がやや強くなり上下カップにするか迷ったが、小雨に戻るのを期待し上カップだけを着込む。致命的判断ミスだ。雨の勢いは衰えず、ズボンもずぶ濡れ状態に。杓子平で1本取るも寒さで早々に行動開始。やがて、尾根に出ると雨が容赦なく降りつけ、寒さを我慢して先を急ぐ。小屋へ到着、中へ入れてもらってホッとした。ご厚意で、ストーブをつけてもらい、衣類を乾かすと共に夕食まで小屋の中で済ます事に。雨がひどくなる前

にテン場へ。雨がざ～ざ～、下からもしみ出してくる中、早々に就寝。
 翌日、3時起床、朝食を済ましテントを撤収、下山準備をして、空身で頂上アタック。5時15分に登頂するも何も見えず。写真だけ撮り、早々に引き返す。ひたすら温泉を目指し、下山道を急いだ。笠よ、又、来るからね!



確認(リーダー)
吉田
11.08.15
作成(報告者)
津田
11.08.08

〈リーダー所見〉延々と続く笠新道の急登に加えて、悪天候が重なり、厳しい山行となった。しかし、メンバは力強く、楽しく登ることができた。
 本山行は、夏山合宿に向けていいトレーニングとなった。この経験を是非合宿に活かしたい。

とにかく笠の頂上です
 笠ヶ岳 その名のままの 雨山行
 思いで残る 浸水テント